

## 東北復興・日本復活のための観光戦略宣言

東日本大震災により被災されました皆様に心より御見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

我が国は、大地震や津波、それに伴う原子力発電所事故の発生により、依然未曾有の危機の中にあります。

本県も3月12日に長野県北部を震源として発生した地震により大きな被害を受けました。また、震災後のさまざまな活動の自粛によって、大幅な需要の減少が生じており、観光産業にとっても深刻な状況が生じています。

観光は、経済、生活に深い関わりがあり、観光産業の停滞がこのまま続けば、被災地の復興を支援するために不可欠な日本全体の活力が失われます。

全国の皆様の支援を受けて2度の震災から復興してきた本県は、この危機を乗り越えるためには、自粛を行わず、経済を萎縮させないことが不可欠であり、被災地支援・被災者支援に繋げることを心がけながら、観光の活性化を図っていくことが重要であると考えます。

このような認識の下、新潟県観光復興戦略会議構成員は、新潟県及び県内市町村と協力し、東北復興・日本復活のため、下記の実施を推進します。

### 記

- 1 本会議構成員は、地域経済を活性化し、東北復興・日本復活のための活力を確保するため、観光振興に積極的に取り組み、観光プロモーションを推進する。本会議構成員を含む観光関係者は、自らの事業を推進する中で、被災地へのチャリティーや新潟県に避難して来られた方の招待等に積極的に取り組む（資料1）。
- 2 新潟県が健全な経済活動を確保することが東北復興・日本復活につながることから、経済社会の停滞につながる行事等の自粛を行わないことを宣言する。新潟県や県内市町村を含む行事等関係者は、自らの事業を推進する中で、被災地へのチャリティーや新潟県に避難して来られた方の招待等に積極的に取り組むことが重要である。

3 東日本大震災に起因する電力供給不足のため、今夏の電力需給は逼迫することが予想される。万が一、計画停電が実施されれば、県経済は大きなダメージを受け、東北復興への支援にも悪影響が生じかねない。計画停電を避けるためには、電力使用の計画的なピークカットの実行が極めて重要な課題となっている。

夏の電力需要のピークにおける家庭の電力使用量は全体の40%にも達する。本会議構成員は、ピークカットの効果的な実施を図るため、新潟県及び県内市町村と協力し、県民等に対し、電力需要の大きい平日の昼間を中心に積極的な外出や旅行を呼びかけ、「楽しくピークカット」することの啓発に積極的に取り組む（資料2）。

- (1) 県民が今夏、家族旅行、レクリエーション、映画、ショッピングに出かけやすくするための環境づくりに協力し、平日の昼間を中心に積極的な外出や旅行を呼びかけるための具体的な計画や商品づくりに積極的に取り組む。
- (2) 首都圏等東京電力管内では電力需給の逼迫がより深刻なことが想定されることから、これらの地域の消費者に対し、積極的な旅行、レクリエーションが東京電力管内におけるピークカットに貢献することを伝え、旅行、特に平日を中心とする家族旅行を奨励するための具体的な対策や商品づくりに積極的に取り組む。
- (3) 特に、電力供給系統が独立しており、電力需給の逼迫が想定されていない佐渡市及び粟島浦村においては、旅行、特に平日を中心とする家族旅行を奨励するための具体的な対策や商品づくりに積極的に取り組む。
- (4) 夏休みのお盆期間以外の時期へのシフトに協力するため、夏休みのピークシフトを応援し、積極的な旅行、レクリエーションを奨励するための具体的な対策や商品づくりに積極的に取り組む。
- (5) これらの対策を推進するに当たり、ピーク時間における節電対策の徹底に積極的に取り組む。

4 本会議構成員は、新潟県及び県内市町村と協力し、以上の対策の具体化に取り組むとともに、県民に対する啓発活動や、県内外への広報・宣伝事業の推進に積極的に取り組む。